

平成25年度まちづくり月間関連4行事受賞者等について

1. 第8回まち交大賞
2. 第30回まちづくり標語懸賞募集
3. 第8回住まいのまちなみコンクール
4. 第15回まちの活性化・都市デザイン競技

第8回まち交大賞

1. まち交大賞について

まち交大賞は、都市再生整備計画に基づくまちづくりにおいて、優良な計画が策定され、また事業の実施、評価、改善において優れた取り組みを行った地区などを対象として表彰し、関係者の栄誉をたたえるとともに、受賞地区の事例を全国に幅広く紹介することで、地域の創意工夫を活かしたまちづくりを促進することを目的として実施するものです。

2. 主催・後援

主催：まちづくり情報交流協議会、(一財)都市みらい推進機構

後援：国土交通省

3. 実施方法

全国の市町村から応募のあった地区の中から、受賞地区を選定します。

【対象地区】

I. 完了地区

平成23年度までに都市再生整備計画事業が完了した地区

II. 計画地区

平成24年度において都市再生整備計画事業を実施中の地区

【審査委員会】平成25年3月29日(金)

委員長 高橋洋二 日本大学総合科学研究所教授

【表彰】平成25年6月14日(金)「まちづくりと景観を考える全国大会」等

4. 表彰

I. 完了地区

①まち交大賞（国土交通大臣賞 1地区）

地域の創意工夫を活かしたまちづくりの取り組みがなされ、都市再生整備計画の策定、事業の実施、事業の評価等において優れた地区で、全国の都市・地域再生のモデルとして特に優秀な地区

②まちづくり達成大賞（まちづくり情報交流協議会会長賞 1地区）

まち交大賞地区に次いで、上記の観点から優秀な地区

③まちづくり効果賞（3地区）

まちづくり達成大賞に次いで、上記の観点から優秀な地区

II. 計画地区

①創意工夫大賞（都市みらい推進機構理事長賞 1地区）

都市再生整備計画において、テーマの設定、まちづくりのアイデア、計画策定のプロセスの3つの観点から特に優秀な地区

②まちづくりシナリオ賞（2地区）

創意工夫大賞に次いで、上記の観点から優秀な地区

第8回まち交大賞 審査結果

賞	地区名	受賞者	概要
まち交大賞 (国土交通大臣賞)	長岡市中心市街地地区	新潟県 長岡市	中越大震災からの力強い復興と都市機能のまちなか回帰による長岡広域市民の「ハレ」の場となる新しい長岡の顔づくり
まちづくり達成大賞 (まちづくり情報交流協議会会長賞)	玉造地区	島根県 松江市	温泉旅館、地域住民が協働し、ハード・ソフト事業の連携により、まち歩きする観光客で昼間から賑わう温泉街へと再生
創意工夫大賞 (都市みらい推進機構理事長賞)	開成山地区	福島県 郡山市	安全で安心な防災のまちづくり～日本一の防災機能を目指し、健やかな子どもを育むまちづくり～
まちづくり効果賞	日立駅周辺地区	茨城県 日立市	地区全体を一体的な空間としてデザインの調和を図り、東西市街地を一体化することで、都市拠点としての魅力が向上
	福知山駅周辺地区	京都府 福知山市	「賑わい」の空間創造、「安らぎ・安心」の環境形成、「便利さ」のネットワークの構築を目指し、中心市街地の活性化を実現
	あやめ池北地区	奈良県 奈良市	産・官・学が力を合わせ、閉園した駅前遊園地の低未利用地の有効活用を図り、「関西圏で有数の生活環境」を創出
まちづくりシナリオ賞	藤川地区	愛知県 岡崎市	交流とにぎわい創出による地域振興と歴史・文化資産を活かした風格漂うまちづくり
	河内長野駅南地区	大阪府 河内長野市	来訪者が、駅前から高野街道を歩いて楽しむことができるように、行政、住民、鉄道事業者等が連携した『おもてなし整備』

第30回 まちづくり標語懸賞募集

1. まちづくり標語懸賞募集について

まちづくり標語懸賞募集は、まちの主人公である住民自身と自治体が共同しながら愛着と誇りのもてる「わがまち」をつくっていくための合言葉を募るもので、平成24年度は3,249通（一般の部 2,723通、児童・生徒の部 526通）の応募がありました。

なお、優秀作品については、第31回まちづくり月間のパンフレットに用いられます。

2. 第30回の募集について

国土交通省において、「歩いて暮らせるまちづくり」をまちづくり月間テーマとし、まちづくりに関する様々な啓発活動を展開することとしております。

まちづくり標語においては、このテーマを受け、以下のとおり、募集を行いました。

近年、超高齢社会が到来する中で、高齢者が身近な場所で通院や買い物ができる環境の整備が求められています。併せて、環境負荷の軽減、中心市街地の活性化等を実現するため、徒歩や自転車で移動できる範囲に生活に必要な市役所、病院、商店等がコンパクトに集積したまちづくり、「歩いて暮らせるまちづくり」を進める必要があります。

このため、歩いて暮らせるまちづくりについての合い言葉を募集しました。

3. 主催等

主 催 : まちづくり月間全国的行事実行委員会
後 援 : 国土交通省

4. スケジュール

募 集 : 平成24年8月1日（土）～平成24年12月31日（月）
選 考 : 平成25年3月5日（火）
表 彰 : 平成25年6月14日（金）「すまい・るホール」（住宅金融支援機構内）

5. 審査委員

委員長	幸田	チャーミン	（ジャーナリスト）
委員	藤本	昌也	（建築家）
	柳島	康治	（コピーライター）
	樺島	徹	（国土交通大臣官房審議官（都市局担当））
	毛利	信二	（国土交通大臣官房審議官（住宅局担当））
	荻原	達朗	（（公財）都市計画協会 業務執行理事）

第30回まちづくり標語懸賞募集 審査結果

一般の部

賞	作 品	作者氏名	住 所
特 選	すぐそばに 暮らしの引き出しそろう町	吉田 誠一	神奈川県横浜市
準特選	コンパクトなまちづくり 歩いて元気に自分も街も	吉田 慶嗣	秋田県秋田市
入 選	買い物も 病院も まあるく歩いて暮らせる町に	黒木喜美枝	長崎県佐世保市
入 選	くらしのニーズをまちなかに 歩いてくらせるまちづくり	坂井 良子	新潟県新潟市
入 選	ゆったりと 歩いて用事 すます街	品川 成子	秋田県秋田市

生徒・児童の部

賞	作 品	作者氏名	住 所
特 選	笑顔と暮らし 歩いて揃う僕のまち	大山 藍	茨城県小美玉市
準特選	楽しく元気 歩きたくなるこの町が好き	山村 渚	静岡県沼津市
入 選	まちづくり「歩く」がくらしのキーワード	坂井敏法	新潟県新潟市
入 選	車より 歩いていこう エコな町	関野詩織	富山県高岡市
入 選	元気でてくてく 便利でてくてく エコでてくてく 歩いて暮らすまちづくり	安西悠理	香川県高松市

第8回住まいのまちなみコンクール審査報告

1. 趣旨

身近な住環境は地域の方々によって維持管理され、安全、清掃、緑化、まちなみなどが保たれています。このようなコミュニティ活動が活性化していることは喜ばしいことですが、一方では敷地の細分化による密集化の進行、緑の減少など環境の悪化も見受けられます。今後、ますます住民や住民組織による維持管理活動の進展が望まれています。このような状況を踏まえ、維持管理活動に実績を挙げている住民組織をまちづくりのモデルとして表彰し、支援するものです。

2. 主催・後援

[主 催]

まちづくり月間全国的行事实行委員会、(一財)住宅生産振興財団、
(一社)住まい・まちづくり担い手支援機構

[後 援]

国土交通省、独立行政法人住宅金融支援機構、独立行政法人都市再生機構、(一社)住宅生産団体連合会、(公社)日本建築士会連合会、(一社)日本建築士事務所協会連合会、(一財)ハウジングアンドコミュニティ財団

3. 事業実施経緯

[応募期間]

平成24年6月18日～平成24年9月18日

[審 査]

審査委員会(委員長 藤本昌也氏(建築家/公益社団法人日本建築士会連合会・前会長))において審査

第1回審査委員会 平成24年10月10日

現地調査 平成24年11月

第2回審査委員会 平成24年12月21日

[審査委員](五十音順/敬称略)

委員長 藤本昌也(建築家/公益社団法人日本建築士会連合会前会長)

委 員 上山良子(ランドスケープアーキテクト/長岡造形大学名誉教授・前学長)

大月敏雄(東京大学 准教授)

橋本公博(国土交通省大臣官房審議官)

松井直人(国土交通省大臣官房技術審議官)

森まゆみ(作家・編集者)

森野美徳(都市ジャーナリスト)

[入選発表]

平成25年1月

[表 彰]

平成25年6月14日(金)

「まちづくりと景観を考える全国大会」において国土交通大臣賞表彰

4. 審査結果

国土交通大臣賞・・・1団体

○ 備中矢掛宿の街並みをよくする会(旧山陽道備中矢掛宿/岡山県小田郡矢掛町)

住まいのまちなみ優秀賞・・・1 団体

- 多治見市 38 区タウン滝呂自治会（多治見市 38 区／岐阜県多治見市）

住まいのまちなみ賞・・・3 団体

- グリーンヒルズ湯の山団地 まちなみ景観委員会（グリーンヒルズ湯の山／愛媛県松山市）
- 佐倉染井野緑地協定運営委員会（佐倉染井野／千葉県佐倉市）
- 南平台環境ボランティア（ガーデンシティ湖南／茨城県稲敷郡阿見町）

国土交通大臣賞

備中矢掛宿の街並みをよくする会
（旧山陽道備中矢掛宿／岡山県小田郡矢掛町）

旧山陽道沿いにある矢掛の町には、共に国の重要文化財に指定された旧矢掛本陣と旧矢掛脇本陣が現存しています。江戸時代から明治期に建てられた町家が多く建ち並び、大屋根を飾る様々な形の鬼瓦は、多様で意匠的にも優れており、瓦がこの地方の特産物であったことを物語ります。ところが、1960 年代以降、商店街の建物全面に看板が設けられるなど、まちなみの歴史的景観を失いつつありました。そこで、伝統的な矢掛宿の面影を守り、継承していくために「備中矢掛宿の街並みをよくする会」が発足し、歴史的財産を大切にしながら、生活に根ざした住民主体の保存活動が活発に行われています。



第15回 まちの活性化・都市デザイン競技

1. 主旨

これからのまちづくりにおいては、そこに生活し活動していることの豊かさが実感でき、誇りのもてる優れた景観を備えた環境整備が重要です。現代の活動にふさわしい新たな都市景観の形成には、まちの歴史や環境に配慮しながら、その都市固有の品格を備え洗練された表現と演出が求められ、そしてその魅力が都市に活力を呼び戻し、新たな賑わいを伴って、まち全体が活性化していくことが期待されます。こうしたまちづくりの基本的課題を踏まえ、本「まちの活性化・都市デザイン競技」は、地域にふさわしい整備構想とまちのデザインについての提案を広く一般から募り、まちづくりに対する国民の関心を高めるとともに、まちづくりの企画・デザイン技術の向上、活力ある美しい景観を備えたまちづくりの実現に寄与することを目的に平成10年度より毎年実施しているものです。

2. 競技対象地区

競技の対象地区は、全国公募に応募された候補地の中から、岐阜県岐阜市の「柳ヶ瀬・玉宮通り周辺地区」（約24ha）を選定しました。

3. 競技課題

対象地区について、地区の賑わいを高め、地域全体を活性化するための拠点整備、回遊性の向上、良好な景観形成等を図るための様々なアイデアと都市デザインについて、その整備手法を含め募集しました。

4. 応募作品数

競技へのエントリーが52グループあり、最終的に提出された応募作品数は32作品でした。

5. 主催・後援

- (1) 主 催 : まちづくり月間全国的行事実行委員会
(財)都市づくりパブリックデザインセンター
- (2) 後 援 : 国土交通省、岐阜県、岐阜市

6. 競技実施スケジュール

- (1) 応募登録期間 : 平成24年 9月10日（月）～10月 5日（金）
- (2) 作品提出期間 : 平成25年 1月 7日（月）～ 1月10日（木）
- (3) 審 査 : 平成25年 1月21日（月）
- (4) 表 彰 : 平成25年 6月（まちづくり月間期間内）

7. 審査委員

- 委員長 : 西 村 幸 夫（東京大学教授・副学長）
- 委 員 : 石 川 幹 子（中央大学教授）
岸 井 隆 幸（日本大学教授）

高見 公雄 (法政大学教授)
 藤本 昌也 (建築家)
 望月 明彦 (国土交通省都市局市街地整備課長)
 細江 茂光 (岐阜市長)

(順不同、敬称略、平成 25 年 5 月現在)

8. 審査結果

審査の結果、次の通り各賞が選定されました。

- 国土交通大臣賞 (1点) . . . 東京理科大学理工学部建築学科 (伊藤香織ほか11名)
- まちづくり月間全国的行事実行委員会会長賞 (1点)
. . . 玉野総合コンサルタント(株) (田中悟ほか6名)
- (財)都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞 (1点)
. . . 日本大学大学院生産工学研究科 (川岸梅和ほか4名)
- 奨励賞 (2点) . . . 早稲田大学大学院創造理工学研究科建築学専攻 (野村大ほか2名)
. . . 芝浦工業大学大学院 (鈴木利衛ほか7名)
- 岐阜市長賞 (2点) . . . 戸田建設(株)建築設計統轄部 (浦波寛弥ほか2名)
. . . 岐阜大学 (出村嘉史ほか7名)

<国土交通大臣賞 受賞作品>

「タテイト×ヨコイト」ータテイトとヨコイトが織りなす繊維の街ー
 伊藤香織、丹羽由佳理、伊藤慎吾、荒井隆太郎、池田俊介、上原慧史、萩原豪、堀口裕、
 大谷唯子、高橋真有、吉田恵子、渡邊諒 (東京理科大学理工学部建築学科)

